

2. 指標設定

成果指標	指標名	火葬業務の実施	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			火葬業務を滞りなく行う必要があるため			
活動指標	指標	a	火葬業務数	b		c		d
	数値	目標	—	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
火葬業務の実施		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
a 火葬業務数	件	798 件	817 件	783 件
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
年々火葬件数は増加しているが、施設の老朽化が著しい
対応（改善点等）
新たな葬斎場（火葬場）の早期完成を進める

5. 事業費・・・H 2 2～H 2 4（決算額）、H 2 5（予算現額）

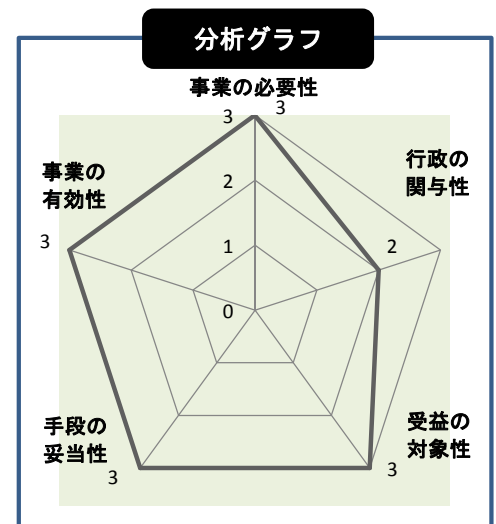
決 算 額 （千円）		H22	H23	H24	H25
		24,427	24,739	38,083	319,159
うち経常経費		24,427	24,739	25,172	27,177
財源内訳	国 費				
	県 費				
	市 債			12,100	271,900
	そ の 他	12,677	12,614	11,890	13,350
	一般財源	11,750	12,125	14,093	33,909
	うち経常	11,750	12,125	13,282	15,098
事業費に係る人件費		2,190	2,150	3,006	4,795
事業費に係る人役		0.50	0.50	0.70	1.10

6. H 2 6 年度予算の方向性

方向性
増額
理由
H26年度まで葬斎場建設工事を実施するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスの提供が可能であるが、提供側が不足している
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
拡充	適正な手続きを進め、完成を目指すこと。